

令和7年10月28日(火)



1 時間目の1年生の国語は、対話の学習です。本時のめあては、「聞き方の工夫や質問の仕方を工夫しながら対話をしよう」でした。対話のカギとなるのは、聞き手の役割です。聞き上手、返し上手な聞き手となることで、対話は深まり、充実します。今回、聞き手が意識するポイントは8つ、「相槌」「表情」「相手の話をさえぎらない」「相手の言葉を引用して質問する」「言い換えて確かめる」「絞る質問」「広げる質問」です。生徒たちは、和やかにおしゃべりはできますが、対話にまで高めることは難しい様子でした。対話といってすぐに思い浮かべるのは、ソクラテス式問答法と言われる対話です。ソクラテスは、質問を通じて相手の考えを深め、相手がすでに持っている知識や信念に疑問を投げかけるというプロセスをとります。「〇〇とは何か？」と、本質的なことを問われると、案外知らないことが多いと気づかれます。



2 時間目は、みんなの学級の体育でした。主運動は、ボンバーゲーム。バレーボールを簡略化したネット型ゲームです。ボールの代わりに、黒いゴミ袋の中に緩衝材を詰めたものを使います。これがボンバー（爆弾）です。名前は物騒ですが、当たっても痛くないため安全安心にゲームを進めることができます。ボンバーを相手コートに投げ入れ、コート内に落ちたら1点。うまくキャッチして3秒以内に投げ返せばラリーが続きます。本時のめあては、「相手のいないスペースに投げて、攻撃しよう」です。チームで作戦を立てながら、ゲームを楽しみました。



5・6 時間目は、1年生の総合的な学習の時間。社会体験チャレンジ（職業体験）でお世話になる各事業所へご挨拶と打ち合わせに行きました。事業所が学校から近い（学区内）の場合は、徒歩で向かいますが、遠方には自転車を利用します。担任の先生が言うには、生徒たちはかなり緊張していたようで、給食を食べたらすぐにタブレットを引っ張り出して、地図で道順を確かめていたようです。心がけがよろしいと思っていると、なぜか地図上で迷子になりましたとつぶやいている生徒がちらほら。うーむ、心配です。



学校から出る道路が、あまり見通しがよくないので、学年の先生と一緒に見送りをしました。自転車に乗り慣れていない生徒もいて、左右にフラフラしている様子を見ると、ドキドキしてしまいます。みんな、時間通りに目的地に到着して、しっかり打合せができたでしょうか。